

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.40			3.0
1 音環境				2.0	0.15	3.0	1.00	2.8
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.2 遮音				1.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-		-	
2 温熱環境				1.9	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御				1.7	0.50	3.8	0.50	
1 室温		冬期24°C、夏期24°Cの室温を実現可能な設備容量を確保		1.0	0.63	5.0	0.63	
3 外皮性能				3.0	0.38	2.0	0.38	
4 ゾーン別制御性					-		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				2.3	0.25	2.8	1.00	2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30	2.4	0.30	
1 昼光率				1.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口					-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30	
2 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆70%以上使用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		居室面積1/8以上の開閉可能な窓を確保		3.0	0.50	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					-	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-		-	
1 CO ₂ の監視					-		-	
2 喫煙の制御					-		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
1 機能性				3.1	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.30	3.0	0.40	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.50	
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	1.00	3.0	0.50	
3 内装計画				3.5	0.30		-	
1.3 維持管理				4.0	0.50		-	
1 維持管理に配慮した設計		内装材は防汚性の高い建材を使用/共用部分は段差をなくす設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保					-		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.31		-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48		-	
1 耐震性				3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁仕上げ材の補修必要期間が30年以上(外壁:タイル60年)		5.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		主要内装仕上げ材の更新必要間隔が16年以上~25年未満(床:磁器質タイル、壁・天井:ビニルクロス貼)		4.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用(給水・給湯汚水・雑排水管:硬質塩化ビニル管)		5.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23		-	

2.4	信頼性		2.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備	1.0	0.20		-	
	3	電気設備	3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法	1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20		-	
3	対応性・更新性		3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1	空間のゆとり				3.2	0.50	
	1	階高のゆとり			4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			2.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.8
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	2.8
1	建物の熱負荷抑制		3.0	0.40		-	3.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.20		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50		-	
3	設備システムの高効率化		2.5	0.40		-	2.5
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			#VALUE!		
		集合住宅の評価	2.5				
4	効率的運用					-	-
	4.1	モニタリング				-	-
	4.2	運用管理体制				-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		2.2	0.15		-	2.2
	1.1	節水	1.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60		-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00		-
		2	雑排水等利用システム導入の有無		-		-
2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.63		-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.24		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22		-	3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	4.0	0.68		-	
		1	消火剤	-	-		-
		2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50		-
		3	冷媒	3.0	0.50		-
							ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して95%	3.2	0.33		-	3.2
2	地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.2	0.25		-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-
		3	交通負荷抑制	4.0	0.25		-
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25		-
							駐輪場・駐車場・管理用車両等のスペースを確保
3	周辺環境への配慮		2.4	0.33		-	2.4
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1	騒音	3.0	1.00		-	
	2	振動	-	-		-	
	3	悪臭	-	-		-	
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40		-	
	1	風害の抑制	1.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制		-		-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	